

# 令和2年度の主要事業

みんなで支えあう安心な地域社会づくり

## ●福祉医療費助成事業

(2億878万2千円)

小学校1年生から高校生世代までの子どもに対する医療費を町単独で助成します。

## ●幼児園給食費補助事業

(3,300万円)

町内在住で神戸町立幼児園を利用する3歳から5歳児の給食費を無償化します。



## ●多子(第3子以降)世帯給食費助成事業

(700万円)

高校生世代までの子どもが3人以上いる世帯に対して、3人目以降の学校給食費相当分を助成します。

## ●子育て支援アプリ情報配信

### サービス事業

(43万円)

妊娠・出産・育児等の子育て支援情報を、スマートフォンで利用できる「子育て支援アプリ」による配信を開始します。妊娠期から子育て期にわたり、子育ての不安の軽減を図ります。

## ●3歳児健康診査における

### 屈折検査導入事業

(121万6千円)

3歳児健康診査において、屈折異常(遠視、近視、乱視)を早期に発見し治療、療育につなげるため、視力検査に加えて屈折検査機器を用いた健診を行います。

## ●子育て世代包括支援センター事業

(194万円)

保健センターと子育て支援センターに平成30年4月に設置した「子育て世代包括支援センター」において、保健師等が相談支援を実施すること、妊娠期からのさまざまな悩みに円滑に対応し、切れ目のないきめ細やかな支援を行います。



▲保健師による沐浴指導

## ●自動車後付け加速抑制装置

### 設置事業

(60万円)

高齢運転者の交通安全対策として、加速抑制装置の定額導入補助を行い、車両や歩行者との衝突事故防止を図ります。  
(関連記事P7)

## ●認知症対策事業

急速に増加すると見込まれている認知症に対し、正しい知識の普及、予防、早期発見と重症化予防に取り組むことで、認知症になっても安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します。

(824万5千円)



▲ばらの里で開催されるローズカフェ(認知症カフェ)

## ●洪水ハザードマップ更新事業

(440万円)

洪水時における避難対策を強化するため、中小河川の水害危険情報図などの情報を加えた、洪水ハザードマップを作成します。作成後は全戸に配布して、住民への周知と併せて防災意識の高揚を図ります。

# 郷土愛と創造性を育むこころ豊かなひとづくり

## ●学校ICT教育環境整備事業

(5,921万6千円)

神戸町の次世代を担う子どもたちの確かな学力の育成を目指して、小・中学校に電子黒板、タブレット端末及びWi-Fi環境等学校におけるICT教育環境の整備を推進します。



▲タブレット端末を使用した授業

## ●学校情報通信ネットワーク環境

施設整備事業 (8,000万円)【繰越事業】

小・中学校の高速大容量通信が可能になる校内LAN整備および、普通教室、特別教室、体育館を含めたWi-Fi環境を整備します。

また、「1人1台端末」の実現に向けて、小・中学校のすべての普通教室にタブレット端末を保管する電源キャビネットを設置、整備を行います。さらに、端末、アクセスポイントなどのセキュリティ対策を強化して、安心・安全に使用できるICT環境の管理体制を整えます。

## ●文化遺産活用推進事業

(500万円)

県重要無形民俗文化財に指定されている「神戸山王まつり」の内容や技術を資料として残し、後世に正しく継承していくため、総合的な調査を行い、解説映像、解説冊子を作成します。さらに、講演会やワークショップを開催し、祭りへの参加者の増加を図ります。



▲文化遺産活用推進事業における住民同士のワークショップ

## ●下宮幼稚園トイレ改修事業 (330万円)

下水道接続工事に併せ、和式便器の洋式化及び既設の洋便器の温便座への更新等を行うことで、快適な衛生環境づくりを図ります。

# 交通安全対策の推進

## ●末守西保2号線通学路整備事業

(5,400万円)

この道路は神戸中学校の生徒の通学路であります。自転車歩行者道が未設置のため、通学生徒及び一般通行者の安全を確保するために、自転車歩行者道を設置します。

# 観光とまちづくり

## ●神チャレンジプロジェクト推進事業

(350万円)

“住んでよかった”と思えるまちづくりを目指し、官民協働でまちづくりの課題解決に向けた事業を計画・実行します。

プロジェクト参画  
新規メンバー募集。  
詳しくは、  
P6をご覧ください。



▲図書館マルシェのマスつかみ

## ●公用車ラッピング事業

(80万円)

町外への出勤機会が多いワゴン車の側面にラッピングを行い、神戸町のPRを行います。